

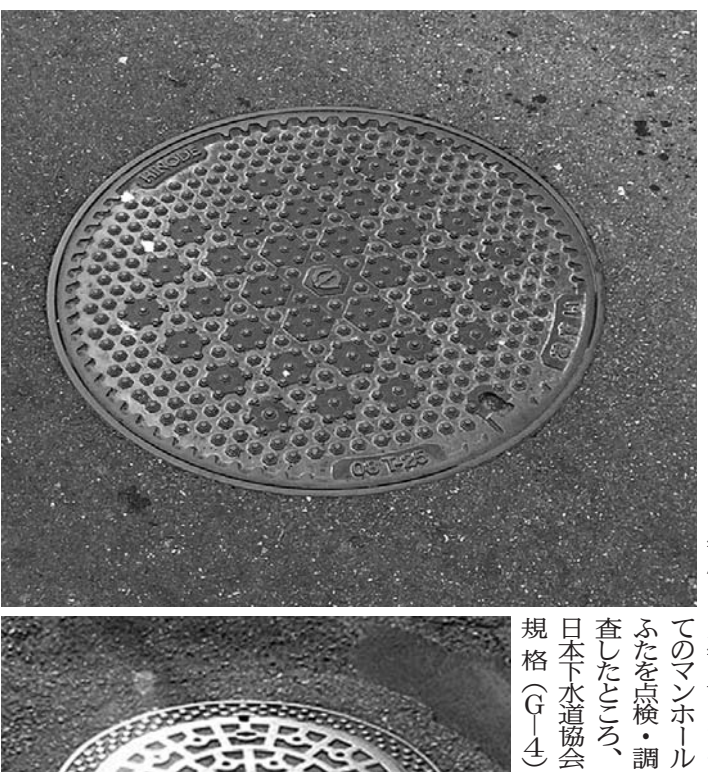
次世代型高品位GMでより高度な安全性確保

下水道機構の技術マニュアル準拠の安全性・耐久性で性能規定

下水道管路施設や道路の一部としての機能が求められるマンホールふたは、重要な社会インフラ施設で、苛酷な設置環境にあることから、安全性を担保するためには、スリップ防止や飛散防止、食い込み防止などの性能が求められる。また、近年頻発する大雨の対応としてこれらの機能が不可欠となっている。特集では、積極的にマンホールふたに関する取り組みを強化している自治体の施策を紹介する。

守谷市上下水道事務所

汚水処理普及率は100%。守谷市の下水道事業は、昭和59年に事業認可を取得し、その後も急激な人口流入などに対応し、事業計画面積は2039haで、公共下水道(分流水)の普及率は99.04%、農業集落排水(区画整理地区、既成市街地、民間開発地区、工業用地、市外開発地区)の普及率は100%。下水道普及率は100%。下水道普及率は100%。下水道普及率は100%。



更新計画に基づき設置された次世代型高品位GM(更新対象のみ)

福山市上下水道局

管径1833mm、長さ1833mm、幅1833mmの管を設置。福山市上下水道局は、平成27年度末人口普及率71%。福山市上下水道局は、平成27年度末人口普及率71%。

長寿命化2期計画を推進

さらなる技術革新に期待

坂根課長は「第1期計画に基づいて、下水道施設の更新を進めています。第2期計画では、さらなる技術革新に期待しています。」



平成25年4月から次世代型高品位マンホールふたを採用



従来のマンホールふたは順次更新

坂根課長は「第1期計画に基づいて、下水道施設の更新を進めています。第2期計画では、さらなる技術革新に期待しています。」

次世代型高品位GMを980基設置

長寿命化でLCC低減を期待

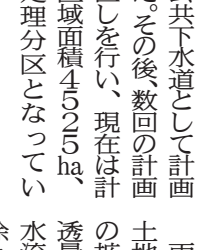
坂根課長は「第1期計画に基づいて、下水道施設の更新を進めています。第2期計画では、さらなる技術革新に期待しています。」



坂道に設置された次世代型高品位GM

鈴鹿市上下水道局

マンホールは約2万4800基。鈴鹿市上下水道局は、平成27年度末人口普及率71%。鈴鹿市上下水道局は、平成27年度末人口普及率71%。

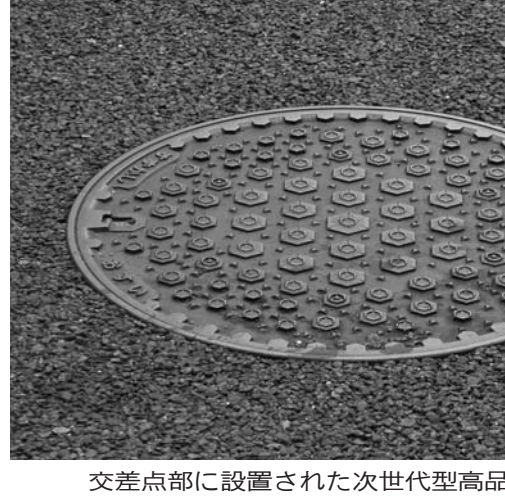


岡田副参事 小牧副参事 竹嶋参事

次世代型高品位GMで安全確保

LCC低減メリットもあり積極活用

坂根課長は「第1期計画に基づいて、下水道施設の更新を進めています。第2期計画では、さらなる技術革新に期待しています。」



交差点部に設置された次世代型高品位GM

坂根課長は「第1期計画に基づいて、下水道施設の更新を進めています。第2期計画では、さらなる技術革新に期待しています。」



デザインマンホールで下水道をPR

坂根課長は「第1期計画に基づいて、下水道施設の更新を進めています。第2期計画では、さらなる技術革新に期待しています。」

坂根課長は「第1期計画に基づいて、下水道施設の更新を進めています。第2期計画では、さらなる技術革新に期待しています。」

坂根課長は「第1期計画に基づいて、下水道施設の更新を進めています。第2期計画では、さらなる技術革新に期待しています。」